

アオアシシギ

Tringa nebularia

シギ科・旅鳥



アオアシシギ

(イラスト：タカダヒロキ)

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(葦原・樹林)
鳥類

名前の由来

足(脚)の色が緑青色のシギであることから由来するという。「シギ」は「騒ぎ(さやぎ)」から来ているといい(新井白石、大言海)シギの羽音からではないかと言う。漢字名：青脚鶺鴒

特定種

該当なし

形態的特徴

全長(くちばしの先から尾の先まで)35cm。上面は濃い灰色で腰は三角形に白い。足は緑青色。

「チョーチョーチョー」と3声で鳴く。くちばしが長く上に少し反っている。

生息環境・分布

干潟、水田、沼地、川岸などに生息する。十勝には4~5月、8~10月に旅鳥として飛来する。

分布：ユーラシア大陸の高緯度地方で広く繁殖。冬にはアフリカ大陸中南部からインド、東南アジア、ニューギニア、オーストラリアにかけて過ごす。

日本には旅鳥として春・秋に河口部や海岸近くの湖沼に渡

類似種と見分け方

カラフトアオアシシギ、コアオアシシギ。

カラフトアオアシシギの足は黄色くて、くちばしは真っ直ぐで基部が淡紅色。コアオアシシギのくちばしは真っ直ぐで反っていない。

他生物との関わり

砂泥地に生息する底生動物を食べる。

食性

小魚、水生昆虫、甲殻類、貝類、カエルのオタマジャクシ

興味深い話

■くちばしが長く上に少し反ってピンセットのようになっていて、泥の中の底生動物を食べるのに適した形をしてい

配慮事項

る。餌となる底生動物が生息する干潟などの浅い水域のある砂泥地が必要。渡りの中継地としても重要。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
十勝出現期				■				■				
ユーラシア高緯度(繁殖期)				■				■				
東南アジア他(越冬期)	■									■ 少数が沖縄でも越冬		

参考文献

「山溪カラー名鑑 日本の野鳥」高野伸二 編、浜口哲一・森岡照明・叶内拓哉・蒲谷鶴彦 著、山と溪谷社 1985 (1995 2版21刷)
「原色日本野鳥生態図鑑(水鳥編)」中村雅彦・中村登流、保育社 1995

「北海道鳥類目録改訂2版」藤巻裕蔵、帯広畜産大学野生動物管理理学研究室 2000